

---

# スピリットサッカー！

三代渡吉

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

スピリットサッカー！

### 【NZコード】

N1727D

### 【作者名】

三代渡吉

### 【あらすじ】

男が、サッカーへ魂の全てをかける。でも彼は一人じゃない！

俺が所属する、町内のサッカーチームの試合の日が迫っていた！  
相手は隣町のやんちゃな野郎どもだ！

ヤツらに負けたくないで、俺たちは試合の日まで、しっかりと身体を作つて、基礎体力を鍛えることをとにかく目標としてきた。朝には毎日マラソンをして、昼は筋トレ、夜なんてダイエットジオを見て、とにかく筋肉作りだ。

そんなことより、もっと他にすることはないのかつて母さんにも少し呆れながら言われた。でも、今の俺達の日には、サッカーしかなかつたんだ。

数日後、ついに試合の日がやつてきた。行く前、一人の女がこつちを見ていた。貴子だった。

きっと俺のことをまた止めにきたんだろう。だけど、悪いな貴子、どうしても俺は……この戦いに行かなくちゃいけないんだよ。プライドがそう急かしているんだ。

そう、彼女に向かって背中で語りながら、俺は堂々と会場へと向かう。

俺達は、まるでガンを飛ばしあうように相手を威嚇しあつた。これは俺達の儀式みたいなもんだ。いつも互いの闘争本能をかきたてて、ベストを尽くせるようにする。

だから、どんなに気乗りしなくても、いつもこと、なんだかや

る気が沸いて来るのだ。これも人間が動物だという証拠だろつ。こつして試合は、互いに気力満点な状態でスタートした。相手も随分練習してきたりしい……この気迫は計り知れない。でも、だからこそ俺達だって燃えてくる！ どっちの炎が上か、正に魂の温度の勝負だつた！

接戦の末、俺達はあと少しで勝てたと言う所で、ガードの穴を突かれて1点返され、ギリギリのところでリードされた。残り時間20秒……このままでは敗北だ。

時間があればよかつたけど、残り20秒の壁は、俺たちにはとても高く立ちはだかっていた。

もう希望もないのか……と諦めかけたその時、リーダーは吼えた。まだ20秒もある、諦めるな、相手の油断を突くんだ！

全く衰えていないリーダーの魂に感化された俺達は、最後の意地を見せた。いつもなら出来ないような連携プレイで、俺に回ってきたパスを受け取り、そのまま相手のゴールにシュートを叩きいた。俺はおたげびをあげた。

そして試合はPK合戦に持ち込まれた。互いに止めつ抜かれつつ、緊迫したPK戦が繰り広げられる。

ついに相手が一点点外した。……これで俺が決めれば、うちのチームの勝ちだ。俺に試合の勝敗の全てがかかっている。その重荷の重さに、思わず身体も震えてきた。

相手のキーパーから発せられるプレッシャーが、俺をさらにガタガタと震えさせた。このままじゃ失敗する。

だけど、そんな時……俺の視界に、とても心強い人間が入ってきた。貴子だった。

貴子は、俺のことを応援してくれているようで、神様に祈るようにな

手を組んで、俺に頑張ってと、見えないエールを送ってくれている。わかつたよ貴子……俺は、絶対にやるよ。勝つてみせるよ……！

そして……俺は迷い無くショートを打ち込んだ。

勝った。相手の意表をついてフェイントをかました俺のショートが、文句なしにゴールに決まったのだ。

仲間達からの歓声が湧き上がる！ 俺も、涙をじらえながらみんなと抱きあって喜んだ。

でも、もっと勝利を分かち合いたい人間がいた。言つまでも無い、貴子だ。

俺は貴子にお礼を言わなくちゃいけない。今回のショートが決まつたのは、彼女のおかげなのだから……。

どれほど感謝すれば、俺の気も、相手の気も済むんだらう。それだけ俺は、貴子に感謝していた。

いつの間にか、貴子が走つて俺のところにやってきた。危なっかしい足取りだった。

わざわざこっちに来てくれた貴子に少し照れながら、俺は彼女と顔を向き合わせる。やっぱり恥ずかしかった。どこか恥らう俺に対し、彼女は一言、大きな声で、今の自分の気持ちを、俺にぶつけた。

「お父さんこれでもう気が済んだでしょ？！ 早く仕事探してよー！」

(後書き)

短編は勢いで書くのが一番ですね。勢いすぎて支離滅裂ですが。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1727d/>

---

スピリットサッカー！

2010年10月11日00時17分発行